



あけましておめでとうございます。みなさん、もう何年もお正月らしい遊びをしていないのではないのでしょうか？ せつかくの年初め、百人一首のかかるた遊びなどしてはいかがでしょうか？ これから、百人一首の織り成す雅の世界にご案内します。（紫陽）

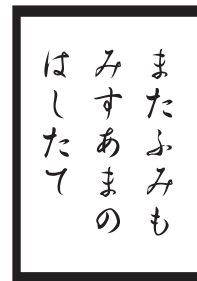
## 百人一首とは？

「百人一首」とは、字義通りに訳すと、「100人のすぐれた歌集」の意となります。百人一首といえば、多くの場合小倉百人一首を指します。その原型は鎌倉時代の歌人藤原定家が、上代から鎌倉時代までの100人の歌人の優れた和歌を年代順に1首ずつ100首選んだものです。撰閲家の藤原北家道兼流・宇都宮蓮生（宇都宮頼綱）の京都嵯峨野にある小倉山荘の襖色紙に載せるために依頼を受けたのがきっかけと言われています。百人一首がかかるた取りのゲームになったのは室町時代の末ごろで、江戸時代に入り木版画の技術が普及すると、庶民に広まりました。

## 百人一首のかかるたでの遊び方

百人一首のかかるたは、絵札（読み札）100枚と字札（取り札）100枚の合計200枚で構成されています。絵札には和歌が1首と、その歌を詠んだ貴族・姫・坊主などの名前と絵が載っています。対応する字札にはその和歌の下の句のみが仮名書きで書いてあります。

▶ 絵札と字札の一例  
札で右が絵札。左が字



### その一、ちらし取り

これが基本と言えるでしょう。

#### <人数>

札を読む人が1人（札は取れない）。取る人は何人でもよい。

#### <ゲームの進め方>

- ①100枚の札をばらばらに並べ、その周りに取る人が座ります。
- ②読む人は読む札をよく混ぜて、上の札から読んでいきます。
- ③取る人は、上の句が読みはじめられたらすぐに取ることができます。
- ④こうして読まれた札を誰かが取ったら、次の札を読みます。
- ⑤100枚の札が全部無くなった時点で、札を最も多く取っている人が勝ちになります。

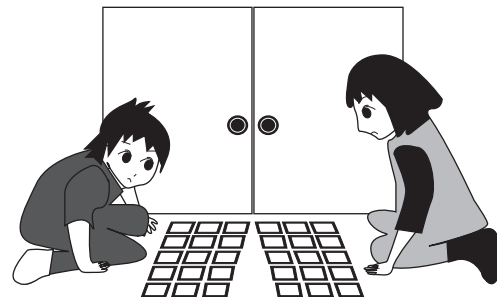
### その二、源平合戦

#### <人数>

札を読む人が1人（札は取れない）。取る人は源氏と平家の2チームに分かれ、それぞれ3～5人ずつ。ただし各チームの人数は同数。

#### <ゲームの進め方>

- ①100枚の取り札をよく混ぜ、各チームに50枚ずつ配ります。
- ②源氏側のチームと平家側のチームは向かい合って座り、50枚の取り札を自分の方向に、3段に並べます。
- ③読み方と取り方はちらし取りと同様にゲームを進めます。相手チームの札を取ったら、自分のチームの札を1枚相手チームにあげ、お手つきをしたら相手チームから札を1枚もらいます。
- ④こうしてゲームを進め、自分のチームの札が早く無くなった側が勝ちになります。



### 坊主めくり～変わった遊び方～

上記の2つとはちょっと違う遊び方、「坊主めくり」を紹介します。

#### <人数>

何人でもよい。

#### <ゲームの進め方>

- ①100枚の絵札を裏返して積み、山札にします。2～4山が適当です。
- ②各参加者が山札にある絵札を上から1枚ずつ取って表に向けて場に置いていきます。このとき引いた札が男性の札なら、そのまま置きます。女性の札なら、場に置かれている札を全てもらいます。天皇（院は含めない）の札なら、山札から裏向きのまま10枚もらいます。坊主の札なら、手札を全て場に返します。
- ③山札が無くなった時点で最も多くの札を持っている人が勝ちです。

はみだし  
すてーじ

うろつきまわりんぐの記事に感化されて、岩倉実相院で癒されてきました。（理・2 va）  
⇒私も自主休講して行きました。日常の喧騒から離れ、心洗われてきました。（授業では得られない大切な何かを得た気がします；編）

## 百人一首のかるたに強くなるには？

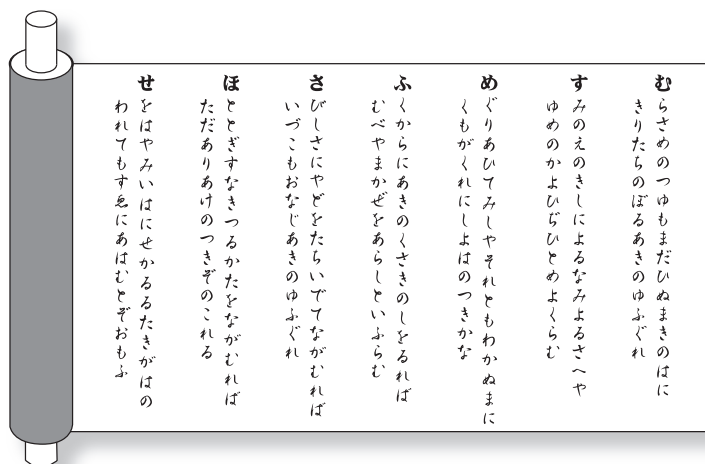
百人一首のかるたに強くなるためには、とにかく歌を覚えないと始まりません。そこで、有効な覚え方を紹介します。

### その一、きまり字で覚える。

きまり字とは、歌を決定するための音（文字）のことで、例えば「一字きまり」の歌とは、上の句の歌い出しの1字を聞いただけで下の句がわかる歌です。きまり字の歌のなかで覚えやすいものは「一字きまり」の歌と「六字きまり」の歌と思われます。

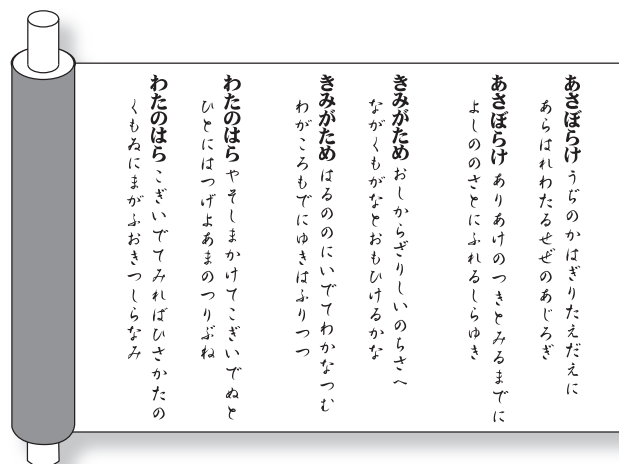
#### ・一字きまり

一字きまりの札は「む・す・め・ふ・さ・ほ・せ」の7枚しかありません。これだけしかないので覚えようと思えばすぐに覚えられます。



#### ・六字きまり

六字きまりの札は3組、6枚あります。最初の頃早まってお手つきしがち（たとえば、「あさぼらけ」と読まれた段階で手をだす）な札なので、早い段階で覚えてしまうようです。



### その二、好きな歌を見つける。

「好きこそものの上手なれ」ということわざにあるように、好きな歌なら楽に覚えられるものです。国語便覧などを利用して解説を読むと好きな歌が増えていますよ。

### その三、声に出して覚える。

何度も声に出して読み上げることで歌が頭に定着しやすくなります。2人いれば、一方が上の句を読みあげ、もう一方がその下の句を答える、という風にやるのもいいでしょう。

### その四、とにかくかるたをする。

何よりも大切なのは、とにかく実際に百人一首をやることです。一度にたくさん歌に触れられるわけなので効率がいいですし、その上強い人の行動も参考にできます。実践の積み重ねで学ぶことは多いはずですよ。

## 百人一首の魅力

百人一首の魅力はまず勝負事ならではの白熱感・達成感でしょう。頑張って歌を覚えて、上の句が読まれたらすぐに下の句が取れるようになりだんだん強くなっていくと、勝負は白熱しますし、達成感もあります。でもこれだけでは他のかるたと変わらないと言われるかもしれません。

そこでもう1つの魅力を紹介したいと思います。それは「和歌を味わう」楽しみがあるということです。百人一首の歌を覚えていく過程で、歌の意味を調べることになるでしょう。そうして歌の意味を調べていくうちに、「昔の人はこんなことを考えていたんだ」とか、「この歌すごく共感できる!」とか、「きれいな歌だなあ」などという気持ちを抱きます。好きな歌を見つけたら、「これは絶対取る!」と心に決めて頑張れます。そうすればきっと勝負に強くなれるはずですよ。まさに一石二鳥ですよ。

いかがでしたか？ 百人一首の雅な世界、お楽しみいただけたでしょうか？ この記事を見て百人一首をやってみたい、と思っただけであれば幸いです。ぜひ友人や家族を誘って遊んでみてくださいね。

はみだし  
すてーじ

大好きだ～  
⇒それほど愛せる人がいるということは素敵なことです。

(法・3 留年生)  
(あなたは幸せ者ですよ；編)